



長浜曳山まつり
Nagahama Hikiyama Festival

2018年

11月4日
10月4日

— 会期中無休 —

八

木

奇

曳山を彩る絵師たちⅢ

企画展

- 開館時間：9時～17時
(入館は16時30分まで)
- 入館料：大人600円、小中学生300円
(団体20名様以上2割引)
※長浜市・米原市の小中学生は無料
- 主催：公益財団法人長浜曳山文化協会

展示説明会 〈要入館料・申込不要〉

日時：10月6日(水) 13:30～
場所：曳山博物館 1階展示室

Y A G I

峰

K I H O U

湖北生まれ、
京都でも活躍した画人、
八木奇峰と関連資料を
ご紹介します。

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKUBUTSUKAN Ave.



企画展

曳山を彩る絵師たちⅢ

八木奇峰



Y A G I
K I H O U



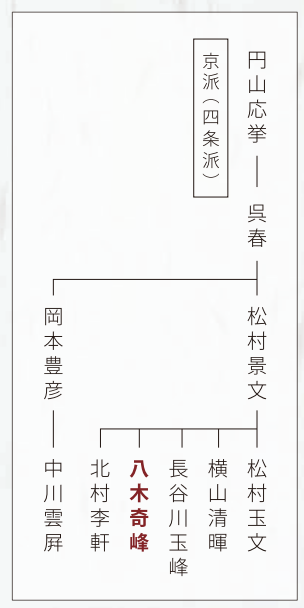
蓮鷺図 竹生島宝蔵寺蔵



紅葉鳩図(孔雀山楽屋襖) 神戸町組孔雀山蔵



芙蓉四十雀図(孔雀山舞台障子)部分 神戸町組孔雀山蔵



京にいた絵師たちの系譜

八木奇峰は、近江国浅井郡下八木村(現長浜市下八木町)出身の画人で、初めは長浜町下船町(長浜市朝日町)にいた絵師山縣岐鳳に弟子入りしました。その後、奇峰は師の仲介により改めて松村景文に弟子入りします。この新しい師の下でも奇峰は技量を認められたようで、高弟の内ひとりとして名を連ねています。

奇峰は景文の門下に入って以降、京都を拠点に活動しました。記録に残る奇峰の最初の画事は、東本願寺白書院杉戸絵の制作で、その他にも大きな仕事としては、元離宮二条城本丸御殿の襖絵および杉戸絵や、御所の襖絵の制作にたずさわっています。

その他にも、京都町衆をはじめとする客の依頼に応じて絵を描いていたようです。

このように京都で一流の絵師として活躍する一方で、奇峰は故郷である湖北の地にも数々の作品を残しています。竹生島宝蔵寺の文専上人の求めに応じて制作した《蓮鷺図》、下八木村と富田村の村人の依頼で同じく竹生島に奉納された大絵馬《平経正像》などは今日まで湖北に伝わる優品です。また、神戸町組孔雀山の舞台障子腰襖《芙蓉四十雀図》と楽屋襖《紅葉鳩図》も奇峰の手による作品であり、長浜曳山祭とも縁のある画人といえます。

今回の企画展では、以上のような湖北に残された奇峰の作品を展示、紹介します。湖北に生まれ育ち、京都画壇の第一線で活躍したこの画人を皆様にご紹介させていただく機会になれば幸いです。

曳山の展示
10月1日~12月15日

おきなざん
翁山



ときわざん
常磐山



実物の曳山をご覧いただけます。
(2019年長浜曳山祭に出場する曳山)

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

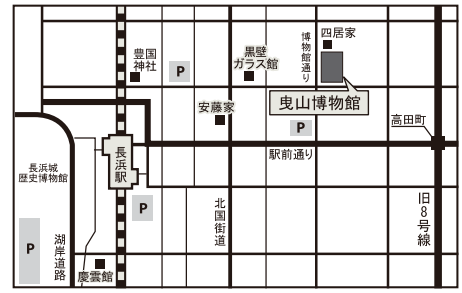
[TEL]0749-65-3300 [FAX]0749-65-3440

http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/

| 入館料 | 大人 | 小中学生 | 障がい者 |
|----------------|------|------|----------------------|
| 個人 | 600円 | 300円 | 無料 |
| 団体 (20名様以上) | 480円 | 240円 | [障がい者手帳の提示で本人と介護者1名] |

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時~17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日~1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分